

● はじめに

- ・△印付きの下記マークは、安全上特に重要な項目を示していますので、必ずお守り下さい。

△警告 その警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う可能性があるもの。

△注意 その警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又は、製品の重大な破損を招く恐れのあるもの。

- ・取扱説明書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管して下さい。

1. 使用目的

- ・本機は、大型車のホイールナットの脱着を行う為の工具です。

2. 注意事項

△警告

- ・延長パイプは使用しないで下さい。過度の入力トルクがかかり、本機の破損の原因になります。トルクは、手力×距離で得る事が出来ます。ナットを締める時は付属のハンドルを縮めて使用するので、ハンドル長さ33cmで手入力で121kgまでの荷重（最大入力392N・m（40kgf・m））で、使用して下さい。又、延長パイプを使用し、本機が破損してもクレーム対象にはなりません。
- ・内部歯車の保護の為、本機には安全ピンが付いています。入力トルクオーバーで安全ピンが曲がるか、折れた時は、新しい物と交換して下さい。又、絶対他の物は使用しないで下さい。本機破損の原因になります。
- ・入力時、ハンドルに力を入れている時は急に手を放さないで、ゆっくりと手の力を抜きハンドルを放して下さい。一度に手の力を抜いてハンドルを放すと、反動で入力の反対方向に跳ね返り、顔や体にケガをする恐れがあります。
- ・過度の入力トルクがかかると安全ピンが折れて、作業者が転倒して、ケガをする恐れがあります。必ず、安定した姿勢で軸に対して垂直に回して下さい。無理な姿勢では、作業をしないで下さい。
- ・ハンドルは付属品を使用して下さい。市販の他のハンドルは、使用しないで下さい。事故、故障の原因になります。

△注意

- ・本機に破損箇所がある場合は、直ちに使用を中止して下さい。
- ・分解、修理、改造は決して行わないで下さい。本来の能力を発揮出来なくなる恐れがあります。又、事故になる恐れがあります。
- ・ハンドル操作は、必ず両手で行って下さい。決して、ハンドルを足などで操作したり、叩かないで下さい。過度の入力トルクがかかり本機破損の原因になります。また、ホイールより本機の抜け落ちや、安全ピンの破損によりケガをする恐れがあります。
- ・作業時は、ヘルメット、安全靴、保護眼鏡を着用して下さい。ケガをする恐れがあります。
- ・操作方法を熟知していない人には、使用させないで下さい。ケガをする恐れがあります。
- ・雨ざらしにしたり、湿気を帯びたまま、収納しないで下さい。本機の能力が落ち、故障の原因になります。
- ・本機を投げたり、乱暴に扱わないで下さい。ケガや故障の原因になります。
- ・本機は、ホイールナット、袋ナットの脱着を行う為の工具です。他の用途には決して使用しないで下さい。
- ・一部の2ton低床車には使用出来ません。

3. 仕様

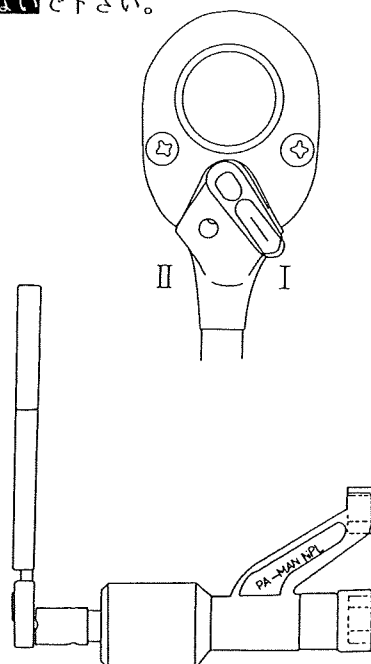
- ・出力：3334N・m（340kgf・m）25.4mm凸角
- ・入力：～392N・m（～40kgf・m）12.7mm凹角
- ・ギア比：12：1
- ・自重：11kg
- ・適応車種：2t～11t車
- ・プラスチックケース寸法：W170×L410×H105mm
- ・付属品：41.21ソケット、ハンドルA12、安全ピン2ヶ

4. 使用開始前点検

- ・指定の安全ピンが確実に取り付けられている事を確認して下さい。変形、破損している場合は、直ちに交換して下さい。
- ・本機に、割れ、カケ、曲がり、ヒビ、無負荷での空転作業等で異常がある場合は、使用しないで下さい。
- ・平らで安全な場所で作業して下さい。又、**作業者以外は、作業場所に近づけさせない**で下さい。

5. 使用方法

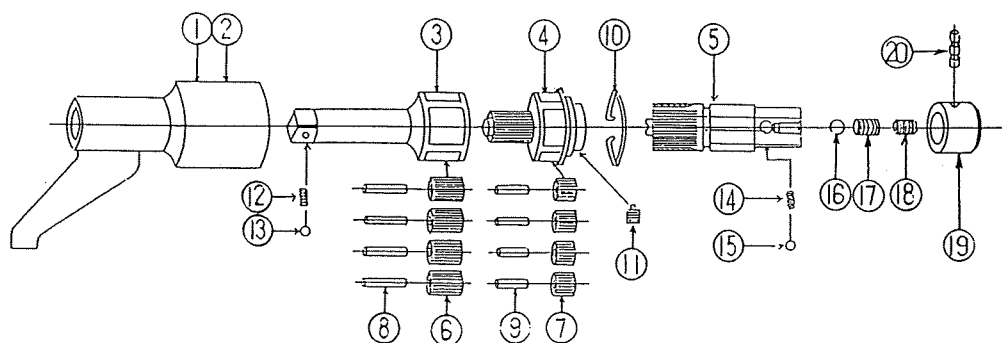
- ①主軸に41Nソケットを、確実に差し込んで下さい。（袋ナットに使用する場合は、41Nソケットの中に21Nソケットを差し込んで下さい。）他のサイズのソケットを使用する時も同様です。
- ②トラックのホイールナット（袋ナット）に41N（21N）ソケットを差し込み、抵抗止めを隣のナットに当てて下さい。
- ③入力角にハンドルを差し込んで下さい。ナットを締める時はハンドルを縮めて、ナットを緩める時は伸ばして使用して下さい。
- ④トラックの右側のホイールナット（袋ナット）は右ネジ、左側のホイールナット（袋ナット）は左ネジになっています。ナットを時計回転方向に回す時は図Ⅰの位置に、反時計回転方向に回す時は図Ⅱの位置に、ハンドルの切り替え爪をセットして下さい。
- ⑤ハンドルを両手でゆっくりと、軸に対して**垂直に回して**使用して下さい。
- ⑥使用中は、本機がホイールから抜け落ちない様に、**ホイール側に本機を押さえ付けて**作業をして下さい。



6. 安全ピンの交換方法

- ・安全ピンが破損、変形した場合は、下記の手順で**指定の安全ピンと交換**して下さい。
- ①ピンポンチ等を使用して、横から安全ピンを叩き出して下さい。抜けにくい場合は、止めネジを少し緩めて、安全ピンを抜き取って下さい。止めネジを緩め過ぎると、内部の圧縮コイルバネ、スチールボールが抜け落ちます。緩め過ぎない様に注意して下さい。**もし抜け落ちた場合は、元の通り確実に組み付けて**下さい。
- ②新しい安全ピンを確実に差し込んで、止めネジを締め付けて下さい。

7. 部品分解図



品番	名 称
1	抵抗止付本体
2	インターナルギア
3	主軸
4	ギア付きケース
5	始動ギア軸
6	出力用遊星歯車
7	入力用遊星歯車
8	出力用固定軸
9	入力用固定軸
10	止めリング
11	止めネジ
12	コイルバネ
13	スチールボール
14	コイルバネ
15	スチールボール
16	スチールボール
17	圧縮コイルバネ
18	止めネジ
19	入力角
20	安全ピン